

## いわて自然公園特派員だより(岩手県自然保護課)

場所：駒ヶ岳【夏油ブナ林の新緑】

令和5年5月17日（水）情報提供（文、写真）岡野 治



新緑のブナ林(標高1000m付近)



ブナ林の春モミジ

夏油温泉から新緑が綺麗なブナ林を通して駒ヶ岳を往復してきました。駒ヶ岳は焼石連峰の北東端に位置し、金ヶ崎側の方が清水から登るコースがメインルートですが、夏油温泉からは、奥深いブナ林を辿るコースで、林内、林床には多数の花も見られる魅力的なコースです。ただし、山腹を縫うように歩くコースはわかり難く、特に残雪が多いこの時期は、見失いやすいコースなので、初めての方は残雪期は避けた方が無難です。



点在しているミズバショウ群生



山頂から西側焼石岳方向(左側が経塚山)

新緑の林内では、ムラサキヤシオ、ムシカリ、タムシバが彩りを添え、ミズバショウ群生地も点々と現れます。イワカガミ、キクザキイチゲ、ニンソウ、エゾエンゴサクなどが林床に多数見られるものの、例年と比べると開花は少ないと感じました。雪解けが早かったためでしょうか。駒ヶ岳山頂では、フデリンドウも咲いていました。



林床に多数咲くイワカガミ



ブナ林、山頂で見られたフデリンドウ